



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルリングクラブ合併)

2024年
12月号
(第18号)

今月のことば

「歳月人を待たず」
 出典：陶淵明『雑詩』
 (深尾香子 選)

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

2024~2025 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなが集えるクラブを！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、試練を越えて進もう！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「ワイズの方向性を見極める」
 アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン(香港)「大きなインパクトを起こそう」
 国際会長 A.シャナヴァスカーン(インド)「より良い世界のために、共に」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ：「キリスト教理解」 「IBC (International Brother Clubs) 国際兄弟クラブ」

12月「クリスマス」例会プログラム

日時：12月3日(火) 18:30~20:30
 会場：ココリア多摩センター6階「さくらの間」
 (小田急多摩線・京王相模原線多摩センター駅
 南口徒歩5分)
 会費：3,000円

受付：峰 毅 司会：小野 実

- *開会あいさつ 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング
- *今月のことば 深尾香子
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *乾杯
- *食事・懇親
- *楽しい演奏
- *寄付金贈呈
- *チーム報告(プランター野菜講座、農園、社協など)
- *YMCA ニュース、各種アピール等
- *スマイル
- *今月のハッピーバースデー
- *閉会ひとこと 司会者

巻頭言「ぼんぼこ農園日記」

今年最初の植え付けは2月15日。ジャガイモ男爵 3Kg、きたあかり 2Kg、メイクイン 2Kg を植え付けました。4月には、夏野菜のナス 5株、ミニトマト 5株、ピーマン 5株、里芋 15株を植え付け、5月には、種から育てたキュウリ 8株とオクラ 5株、追加でナスも3株植え付けました。5/18(土)の町田福祉バザーにはニンニクだけ30個を販売しました。今回は出来栄もよく、特大200円、大150円、中100円、小50円はあっという間に売れ切れしました。6月にはジャガイモ約20Kgを収穫し、6月例会でみなさんに買っていただきました。また、当クラブが支援する「慈有塾」と「ほくの家」にも届けました。6月にはサツマイモ(紅あずま)20株を植え付けました。夏野菜は6月から収穫ができるようになり、7月末までに、「ほくの家」に13回、「慈有塾」に6回お届けできました。今年は「ほくの家」のフードパントリーにも入れていただくために多くの野菜をお届けしました。昨年は8月にもお届けしましたが、今年は猛暑の影響(?)で、ナス以外の夏野菜は7月末で収穫は終わりました。今年好評だったニンニクを9月末に約90株植え付けました。10月末に里芋22Kgとサツマイモ20Kgを収穫し、11/2(土)の町田福祉バザーに備えましたが、雨天のためバザーは中止となってしまいました。メンバーが手分けして販売し13,800円の収益がありました。
 (佐々木清勝記)



12月の Happy Birthday

石田孝次さん(15日)、
 田中博之さん(15日)

11月例会	在籍16名 (内広義会員5名) 例会出席 14名	出席内訳	メンバー 10名	BF切手 0g	オークション 0円
			メーキャップ 2名	(今年度累計 0g)	(今年度累計 0円)
			出席率 100%		
			メネット 0名	ぼんぼこファンド 13,800円	スマイル 30,020円
			ゲスト・ビジター 4名	(今年度累計 16,200円)	(今年度累計 49,125円)

11 月例会報告

11月5日(火)19時から、当クラブの11月例会が、ベルブ永山4階・講座室を会場として開催されました。司会は、伊藤江理夫さんでした。冒頭、前日に開催された「城田敬寛さんを偲ぶ会」の報告が、伊藤会長からありました。



今月の例会は、パキスタン、アフガニスタンで医療活動、用水路の建設活動を行い、2019年に凶弾に倒れた中村 哲さんの足跡を辿るビデオ「医師中村 哲の仕事・働くということ」のビデオ上映会でした。上映に先立ち、教会を通じて中村さんを知り、ビデオの上映活動を進めている、大川千秋さんから挨拶をいただきました。

<中村 哲さんの足跡>

- 1983年、ハンセン病の蔓延するパキスタンの無医村地区で診療を開始。閉鎖的な社会の中で、住民たちとの根気強い対話により信頼を得て、やがて、現地の若者たちの助けも得て、パキスタンとアフガニスタンに5つの診療所を開設。パキスタンのペシャワールには総合病院を設立
 - 2003年、歴史的な干ばつの影響により、水不足に悩むアフガニスタンの砂漠地帯で独学によって、用水路の建設を開始
 - 2010年、長さ25キロ、65万人の生活を支える「マルワリード(真珠の意)用水路」が完成
 - 2019年12月4日、タリバンの銃撃によって死亡
- <中村 哲さんの言葉> (ビデオから)
- 「恐らく、変わらずに輝き続けるのは、命を愛惜し、身を削って弱者に与える配慮、自然に対する謙虚さである。現地事業がその思いに支えられる限り、恐れるものは何もない。」(ペシャワール会報)
 - 「人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない。だが自然の理に根差しているなら、人は空理を離れ、無限の豊かな世界を見出すことができる。そこで裏切られることはない。」(同)

東京八王子クラブから3名の出席があり、同クラブ30周年記念例会参加への感謝がありました。

中止となった町田福祉バザーで販売する予定であった、ぼんぼこ農園の収穫物(サトイモ、サツマイモ)の即売が行われました。(田中記)

<出席者>石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、小野、滝口、田中、為我井、深尾、峰、綿引 <ビジター>【東京八王子】稲葉、久保田、小口 <ゲスト>大川<メーカー>小野、尾張

11月第2例会(運営会議)報告

11月11日(月)19:00から、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。

11月例会報告、「城田敬寛さんを偲ぶ会」報告、会計報告、12月ブリテン構成の他に、以下のことが報告、話し合われました。

- 第8期プランター野菜講座:益金から、慈有塾、ほくの家等に2万円ずつ献金する。
- 松林さんの退会:ご高齢により、12月末で退会の申し出があり、承認した。
- 12月例会会場:ココリア多摩センターの貸し切り宴会場「さくらの間」を第1候補とする。
- 1月例会:1月11日(土)の在京ワイズ合同新年会を1月例会とする。
- 「城田敬寛さんを偲ぶ会」の会計処理:費用から寄付金を引いた総額を当クラブと東新部で折半する。
- 為我井さんのBF文化代表としてのネパール訪問(11/20-12/11):クラブ会計から2万円支援する。
- 次年度クラブ体制:1月第2例会で相談する。全クラブメンバーの参加が望まれる。
- クラブの将来像、具体的施策の検討:次年度のクラブ体制のもとで検討する。(田中記)

<出席者>伊藤(幾)、小野、尾張、田中、為我井、深尾、綿引 合計7名

「城田敬寛さんを偲ぶ会」報告

11月4日(月・祝)13時30分から、当クラブ主催、東新部共催の「城田敬寛さんを偲ぶ会」が、東京YMCA東陽町センター・YMCAホールにて執り行われました。



第1部として、追悼ビデオ上映、黙祷、山田東日本区理事等の追悼の言葉、お父上の感謝の言葉の紹介等が行われました。

第2部では、軽食をともにしながら、多くの参加者から城田さんの思い出話が語られ、また、音楽が好きだった城田さんを偲んで、歌や演奏が行われました。出席できなかった多くの方々からのメッセージも披露されました。最後に、全員で「別れの歌」を歌い、「しばしの別れ」を惜しみました。参加者は、ゲスト5名を含め38人でした。

当日の写真アルバムは、以下をクリック

<http://30d.jp/ysjapan/33>

追悼ビデオは、以下をクリック

https://www.youtube.com/watch?v=3oyZC5_zSiE

(田中記)

12月は特別例会“クリスマス例会”

12月例会は、会場を多摩センター駅近くの「ココリア多摩センター」で下記のとおり開催します。



私たちのクラブが支援するNPO法人「慈有塾」、「ほくの家」関係者もご招待します。

- *日時：2024年12月3日（火）18:30～20:30
- *会場：ココリア多摩センター6階「さくらの間」
- *会費：メンバー、ビジター、ゲストとも3,000円

「慈有塾」「ほくの家」関係者は無料招待します。また、クリスマスプレゼントとして「慈有塾」「ほくの家」にそれぞれ2万円の寄付金を贈呈します。

- *「慈有塾」：地元多摩市を拠点に高卒資格認定試験にチャレンジする受験生向けの無料塾を運営するNPO法人
- *「ほくの家」：食に困っているひとり親世帯向けをメインに子ども食堂、フードパントリーサービスなどを行っています。

東新部第2回評議会報告

11月23日(土)14:00～16:40、東京YMCA東陽町センターで東新部第2回評議会が開催されました。部書記の伊藤幾の司会、今井部長の開会点鐘で始まりました。聖書朗読・祈拝は当クラブの綿引さん（地域奉仕・Yサ事業主査）。

議案として①2024-2025第1回評議会議事録承認の件、②次期部長の交代の件、③2025-2026部役員承認の件、④2024-2025部大会報告承認の件、⑤2025-2026部大会の件、⑥東新部規定集改訂の件、⑦EMCセミナー開催の件、⑧その他として、為我井さん（当クラブ）のBF代表（ネパール訪問）への補助金2万円支出の件が提案され、すべて承認されました。



②の次期部長交代については、すでに決定していた比奈地さん（東京クラブ）が健康上の理由で辞退され、深尾さん（当クラブ）が選任されました。③の議案で、深尾さんから次期部役員の提案がなされました。部の役員には、今期も当クラブのメンバーの多くが名を連ねていますが、来期はさらに、その比重が高くなります（部3役、4事業主査は当クラブメンバー）。出席は21名（内オンライン6名）、当クラブからは深尾、石田、田中（オンライン）、綿引、伊藤（幾）の5名でした。（伊藤幾記）

第8期プランター野菜講座最終回報告

11月12日(火)に第8期講座の最終回が開催されました。今回の講座は、参加者のみなさんが忙しい時期と重なり不参加や欠席される方が多かったのですが、最終回には15名に画面に登場していただきました。東京八王子クラブの花輪さんは、外出先から駆けつけていただきました。また、深尾さんは、仕事からの帰りに、移動中にもかかわらず最後まで参加していただきました。ご無沙汰続いだった三島の村上てる子さんが、最終回に滑り込んでいただき、最後まで参加していただきました。元気な声を確認することができました。また、東京八王子クラブの小口さん、稲葉さんは、いつも熱心に参加され、超優等生ぶりを発揮していただきました。2人とも講座運営の影の功労者です。遠く長野クラブからは、森本さんが熱心に参加され、藤田講師との会話が面白く、いつも笑いの渦を巻き起こして、みなさんを楽しませていただきました。今や、この講座になくはならない一人になっています。東京たんぼぼクラブの小原さんは連続参加で、茶目っ気たっぷりの笑顔をみなさんに振りまいていただいています。最近仲間入りしていただいた鎌倉クラブの板崎さんは、控えめで言葉少ないのですが、真剣さが伝わってきます。初回から通算で2ヶ月以上に及びましたが、終わってみればあつという間の2ヶ月でした。最終回の生育写真は、これまでになく沢山送っていただきました。苦労して育てた野菜の様子が伝わり、みなさん随分腕を上げられたと言うのが率直な印象です。藤田講師とのやり取りもかみ合い、和気あいあいのやり取りが続きました。質問も初期の講座のころとは格段レベルが上がり、一般参加の山本照雄さんは、私たちの知らない専門用語をちりばめて藤田講師と丁々発止のやり取りがあり、刺激を受けるばかりです。（石田記）

大和クリエイティブYサービスクラブCN報告

11月24日（日）13時から、大和クリエイティブYサービスクラブのチャーターナイト（ワイズメンズクラブ国際協会加盟認証状伝達式）が大和「北京飯店」で開催されました。2年ぶりの新クラブ誕生ということで、北は北海道から西は神戸まで約70名のワイズがお祝いに駆けつけました。当クラブからは4名（石田、田中、深尾、伊藤幾）が参加しました。お祝い金（1万円）もお渡ししました。新クラブは、小松伸史さん（元厚木クラブ）を中心に、大和商工会議所のメンバーら8名でスタートします。スポンサーは湘南・沖縄部です。（伊藤幾記）

ぼんぽこ農園便り

佐々木さんから、玉ねぎの苗 330 本をぼんぽこ農園の空きスペースに植え付けたとの連絡をいただき、早速状況を視察してきました。黒色の穴あき専用シートに穴ごとに、立錐の余地もなくぎっしり苗が植えこまれていました。去年は、成長途上に病気にかかり、結球が大きにならないまま、涙をのんだ苦い思い出があります。佐々木さんには、畑の土壌改良にも精力的に取り組んでいただきました。ここ 1、2 年の間に、整備状況が一段とレベルアップしているのが、農園全体を見渡すと伝わってきます。植え付けが終わったタイミングで、藤田さんから佐々木さんに追加の苗 350 本を農園に届けたとの連絡が入り、一緒に農園に見に行きました。その苗を東側の空きスペースに植えることにし、その翌日に井上さんの力を借りて、佐々木さんと 2 人で植え付け作業をしていただきました。佐々木さんから作業完了の写真が届き拝見しましたが、見事な玉ねぎ畑に変身していました。お疲れ様でした。来年 5 月末の豊作が今から待たれます。(石田記)



為我井さん BF 代表でネパールへ

当クラブの為我井さんが、今年度の BF 文化代表としてネパールを訪問しています。11/20(水)に成田空港を出発し、12/11(水)まで滞在します。以下は為我井さんの現地からのコメントです。(伊藤幾記)「ワイズメンズクラブ国際協会の BF 文化代表としてネパールに派遣されました。カトマンズ、ポカラ、ルンビニを訪問する予定で、こちらのワイズメンズクラブの方々とお会いしたり、学校を訪ねたりすることが楽しみです。詳しいことは帰国後、ご報告できるでしょう。」



在京ワイズ合同新年会のご案内

早いもので、2025 年の在京ワイズ新年会のお知らせの時期となりました。東京西クラブが担当で、下記のとおり開催されます。当クラブは、この新年会を「1 月例会」として扱います。多くのメンバーのご参加をお願いします。(伊藤幾記)

- *日時：2025 年 1 月 11 日(土) 13:30～16:30
- *会場：東京 YMCA 東陽町センター
- *会費：5,000 円



YMCA ニュース

担当主事 小野 実

- YMCA 運動へのご理解、ご協力に感謝いたします。
1. 9 月 21 日～22 日に石川県能登地方を襲った記録的豪雨の被災者支援のため、全国 YMCA が連携して輪島市町野町にボランティアを派遣しています。11 月末までに全国 YMCA で延べ 175 名(内東京 YMCA の学生ボランティア、スタッフは 37 名)が、泥かきや物資の仕分けなどの支援活動に従事しました。
 2. 「世界 YMCA・YWCA 合同祈禱週」に合わせ、東京 YMCA、東京 YWCA、在日本韓国 YMCA の共催で、11 月 14 日に「YMCA・YWCA 合同祈禱週礼拝」を東京 YWCA カフマンホールで開催し、約 50 名が出席しました。堀光雄牧師(東京 YMCA 山中家族キャンプチャプレン)に「神様の愛によって」と題してメッセージをいただきました。
 3. 11 月 15 日～17 日、「第 23 回日本 YMCA 大会」が「Link!～[私]、YMCA、世界、そして未来～」をテーマに YMCA 東山荘で開催され、全国 YMCA からユースボランティア、会員、職員など約 215 名(東京 YMCA から 21 名)が参加し、オンラインでは 94 名が視聴しました。
 5. 今後の主な行事予定
 - ・ウクライナ避難者支援クリスマスチャリティー公演「てぶくろの人形劇を観て交流しよう」
12 月 7 日 会場：山手センター
出演：人形劇団ポポロ
日本 YMCA 同盟主催 協力：東京 YMCA ・(公財)日本児童青少年演劇協会
 - ・「職員クリスマス礼拝」12 月 17 日
会場：日本基督教団霊南坂教会
説教：金迅野牧師(在日大韓基督教会横須賀教会) 奏楽：飯靖子氏(東京 YMCA 理事)
 - ・「ソシアスフォーラム 2024」2 月 1 日
会場：山手センター
 - ・「第 900 回記念早天祈禱会」2 月 3 日
説教：古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
会場：山手センター(懇談会も予定)
 - ・「総主事就退任式」3 月 29 日
会場：日本基督教団霊南坂教会
司式：古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)

今後の予定

- 12/3(火)18:30～20:30 12 月クリスマス例会
- 12/7(土)13:00～次期部長・主任研修会 Zoom
- 12/8(日) ワイズ「祈りの輪」の日
- 12/9(月)19:00～20:30 12 月第 2 例会 Zoom
- 12/14(土)16:00～18:30 町田 YMCA 市民 Xmas
17:00～20:00 東京八王子クラブ Xmas 例会
- 2025 年 1/11(土)13:30～在京ワイズ合同新年会
- 1/13(月)19:00～20:30 1 月第 2 例会 Zoom

編集後記 早いもので今年も残り 1 か月です。今年
は災害に見舞われました。良いクリスマスを!(i.i)